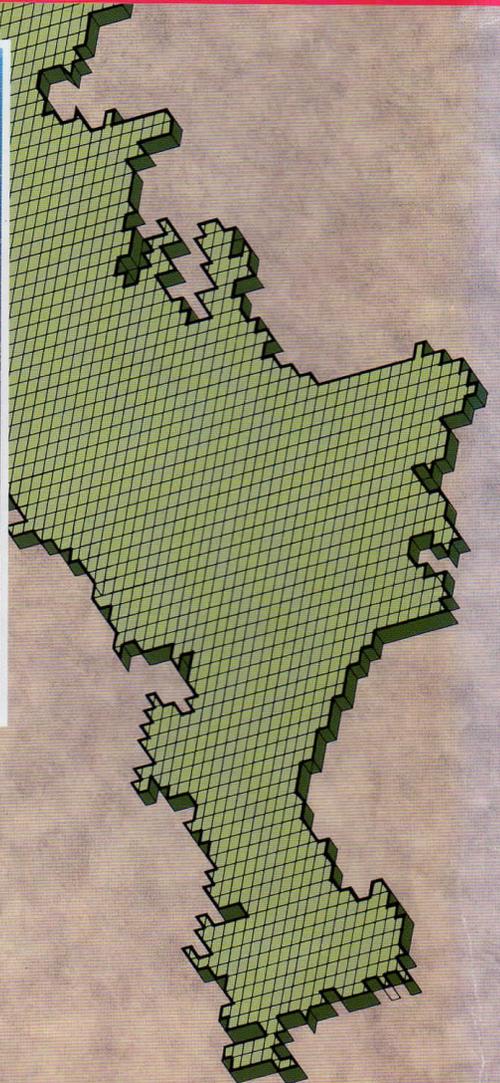
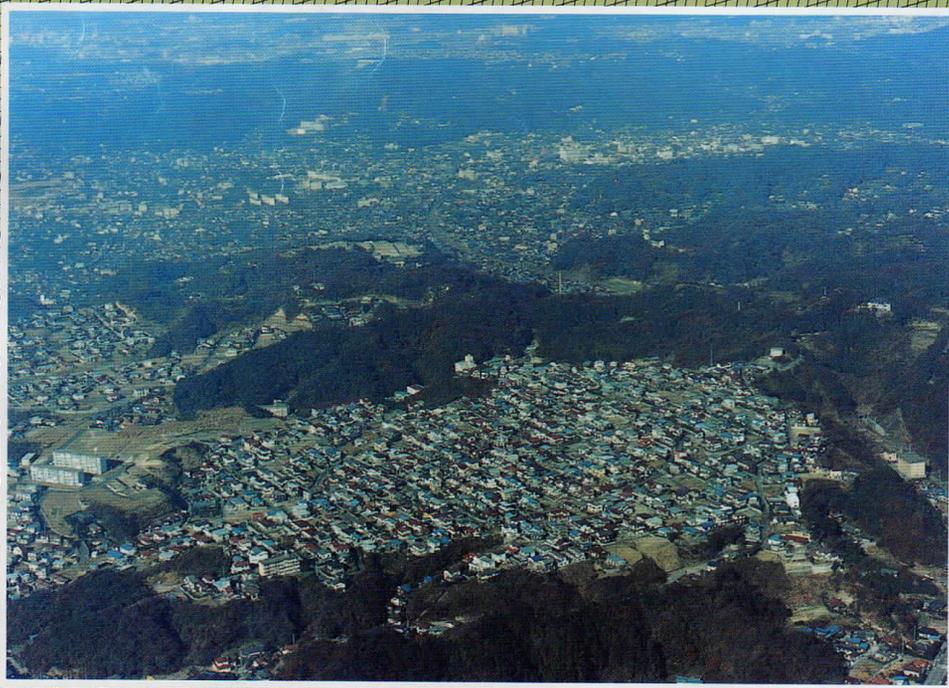


25th
ANNIVERSARY

かめがおか

KAMEGAOKA ZUSHI-SHI



かめがおか賛歌

亀が岡は庶民的な住宅地として知られる。その大部分は、東京労働者信販生活協同組合（労信販）が、組合員の要望にこたえて、湘南の地にはじめての大型住宅団地として造成したもので、勤労者が求めやすい価格に設定してあった。

ただ、そのズサンな計画や工事のため、自治会は労信販などを相手に悪戦苦闘してきた歴史をもつ。しかし別の目でみると、ここは標高60メートルを頂点に23メートルまで南向きに傾斜して造られ、北側に高台を背負い、太陽を受けやすい地勢になっている。一区画が小さく、道幅も狭いのに、比較的に日があたって暖かいのは、その造成が大きく影響している。

また、北側に抜ける自動車道のないのは防災の面で問題がないとはいえないが、これが半面、通過車両のない静かな住宅地をつくっている。労信販に暖かいまなざしを送ってもよいだろう。

庶民的なのは、分譲価格だけではない。ホウキの行商人がかつて「他の住宅地はもっぱらインタホンを通したやりとりで顔を見ないで回るが、ここは顔を合わせたうえ『うちはいらぬが、

お隣に聞いてあげる』と声をかけてくれたりする。ホツとしますよ」としみじみ語っていた。いまではインタホンの家もふえたが、よくも悪くもそこに亀が岡があるだろう。自治会のサークル活動にも、それに通じる結びつきを示すものがみられる。

夏の夜にわびしさを誘うコノハズクの鳴き声は、このところ聞かれなくなったが、景観は、かながわの景勝50選に、近くの「披露山公園」「光明寺裏山の展望」が入っている。もともと徳富芦花の「自然と人生」の舞台であり、大佛次郎が「稀にみる豪奢（こうしゃ）な眺望」と絶賛して、しばしば足を運んだ「小坪の富士」は目と鼻の先にある。

さらに国指定史跡「名越切通しと大切岸（きりぎし）」、やぐら・アジサイ・ショウブのまんだら堂跡。歴史の宝庫の鎌倉や三浦半島は訪ねはじめると、きりがいいだろう。

これら恵まれた環境を生かして、亀が岡のこれからの道をどのようにつくっていくのか。佐藤会長発表案による二十五周年誌がそのステップになれば幸いである。

（霜山）

かめがおか25周年記念誌 目次

《カラー》 披露山公園のさくら……………	1
初夏を彩る花……………	2
小坪湾上空より……………	75
座談会：かめがおか・過去・未来……………	4
座談会：亀が岡自治会の10年をふり返る……………	8
主婦たちの座談会：亀が岡あれこれ……………	10
お世話になった歴代市長……………	11
ワオトギヤリー かめがおか……………	12
「亀が岡」の誕生……………	20
☆亀が岡の名称の由来☆……………	21
自治会の結成へ……………	22
自治会活動の歩み……………	24
♥25周年お祝いのことば♥……………	37

多彩なサークル活動……………	38
亀が岡の周辺……………	42
亀が岡と小坪小学校 田野倉 富夫……………	42
歴史メモ・まんだら堂跡……………	43
亀が岡ものがたり……………	44
歴史メモ・小坪の漁業……………	45
亀が岡のむかし 石井清司……………	46
亀が岡の気象 朝倉 正……………	47
大谷戸の道 「ながれ藻」より……………	47
《資料編》……………	48/73
■年 表■ (昭和38年～平成元年)……………	48
歴史メモ・大崎山 小坪の夏祭り……………	56
市内の医療機関(一般・歯科)……………	63
逗子市亀が岡自治会規約……………	70

かめがおか賛歌

亀が岡は庶民的な住宅地として知られる。その大部分は、東京労働者信販生活協同組合（労信販）が、組合員の要望にこたえて、湘南の地にはじめての大型住宅団地として造成したもので、勤労者が求めやすい価格に設定してあった。

ただ、そのズサンな計画や工事のため、自治会は労信販などを相手に悪戦苦闘してきた歴史をもつ。しかし別の目でみると、ここは標高60メートルを頂点に23メートルまで南向きに傾斜して造られ、北側に高台を背負い、太陽を受けやすい地勢になっている。区画が小さく、道幅も狭いのに、比較的に日があたって暖かいのは、その造成が大きく影響している。

また、北側に抜ける自動車道のないのは防災の面で問題がないとはいえないが、これが半面、通過車両のない静かな住宅地をつくっている。労信販に暖かいまなざしを送ってもよいだろう。

庶民的なのは、分譲価格だけではない。ホウキの行商人がかつて「他の住宅地はもっぱらインタホンを通したやりとりで顔を見ないで回るが、ここは顔を合わせたうえ、うちはいらぬが、

お隣に聞いてあげる」と声をかけてくれたりする。ホツとしますよ」としみじみ語っていた。いまではインタホンの家もふえたが、よくも悪くもそこに亀が岡があるだろう。自治会のサークル活動にも、それに通じる結びつきを示すものがみられる。

夏の夜にわびしさを誘うコノハズクの鳴き声は、このところ聞かれなくなったが、景観は、かながわの景勝50選に、近くの「披露山公園」「光明寺裏山の展望」が入っている。もともと徳富芦花の「自然と人生」の舞台であり、大佛次郎が「稀にみる豪奢（こうしゃ）な眺望」と絶賛して、しばしば足を運んだ「小坪の富士」は目と鼻の先にある。

さらに国指定史跡「名越切通しと大切岸（きりぎし）」、やぐら・アジサイ・ショウブのまんだら堂跡。歴史の宝庫の鎌倉や三浦半島は訪ねはじめると、きりがいいだろう。

これら恵まれた環境を生かして、亀が岡のこれからのようにつくっていくのか。佐藤会長発案による二十五周年誌がそのステップになれば幸いである。

（霜山）

かめがおか25周年記念誌 目次

《カラー》 披露山公園のさくら……………	1
初夏を彩る花……………	2
小坪湾上空より……………	75
座談会：かめがおか・過去・未来……………	4
座談会：亀が岡自治会の10年をふり返る……………	8
主婦たちの座談会：亀が岡あれこれ……………	10
お世話になった歴代市長……………	11
フォトギャラリー かめがおか……………	12
「亀が岡」の誕生……………	20
☆亀が岡の名称の由来☆……………	21
自治会の結成へ……………	22
自治会活動の歩み……………	24
♥25周年お祝いのことば♥……………	37

多彩なサークル活動……………	38
亀が岡の周辺……………	42
亀が岡と小坪小学校 田野倉 富夫……………	42
歴史メモ・まんだら堂跡……………	43
亀が岡ものがたり……………	44
歴史メモ・小坪の漁業……………	45
亀が岡のむかし 石井清司……………	46
亀が岡の気象 朝倉 正……………	47
大谷戸の道 「ながれ瀬」より……………	47
《資料編》……………	48/73
■年 表■ (昭和38年～平成元年)……………	48
歴史メモ・大崎山 小坪の夏祭り……………	56
市内の医療機関(一般・歯科)……………	63
逗子市亀が岡自治会規約……………	70

座談会

かめがおか。過去。未来

平成二年二月十日(土)

亀が岡会館で

「二十五周年誌」発刊の経緯

——きょうは、亀が岡の過去・未来を語り合うということで、これから六人の方がたにお話を伺いたいと思います。ちょっとキザなテーマかな、とも考えますが、まあ、お気軽に自由にご発言いただきたいと思ひます。

出席者

(敬称略)

佐藤 義男 (第25期会長・六班)

高宮佐紀子 (第25期副会長・八班)

鈴木 有子 (十班)

東 弘之 (二十一班)

石母田澄江 (十三班)

鷺原 浩 (十五班)

《司会》

霜山富士夫 (一班)

板津 直成 (七班)

小沢 健一 (八班)

杉本代八郎 (十八班)

まず、「かめがおか二十五周年誌」を発刊したいとお考えになった経緯を、現会長の佐藤義男さんにお話しいただきたいのですが。と申しますのは、この経緯が、座談会をなぜ開くかの導入部になると思ひますので。

佐藤 二十五周年誌を出したいと考えたのは会長をお引き受けした昨年の三月、八班の小沢健一さん(第五期事務局長)が「ご参考に」と第一号から現在に至る会報のバックナンバーを全部もってこられたときです。今期はちょうど25期。この間、すでに他界された会長、移転された会長もいらつしやる。30期まで待つことも考えられますが、いまのうちにまとめておかないと二十五年の歴史が分からなくなる恐れもある。初期から存じ上げている方が健在のうちに、と考えたからです。記念誌を作るとなれば編集委員が必要です。身近にその任びつたりの方がおられました。第10期会長で神奈川新聞の霜山さん、第11期会長で亀が岡の初期から活躍され、地域に不可欠な杉本さん、さきほど申し上げたほかに「小坪トータス」の発足にもかかわった小沢さん、前期副会長で、「かめがおか」の編集にたずさわり、朝日新聞にもおられた板津さん、以上四人の皆さんです。さつそくお願ひいたしましたところ、ご理解いただき、お引き受

けくださいました。

その記念誌の中味についてですが、亀が岡の方がたのご意見も載せたい。亀が岡をどう思うか、これからの亀が岡をどのようにすれば住みよい町になるか、など自由に発言できる場、そういうページをつくりたいと四人の編集委員と話し合いました。その結果、出席者は①高齢者から若者まで、②少人数で男女三人ずつ、③自由に発言していただく、ということで本口、皆さま方にお集まりいただいた次第です。

——まず、ご出席の皆さんの自己紹介から始めましょう。



鈴木 昭和四十一年五月に東京の久我山から参りました。当時三歳と一歳の子どもを連れて。家の前に山もあり、回りにはスキが茂っていました。ここには生活のための一応の施設はあると思ひてきたのですが……。

東 昭和四十年の十一月に参りました。職業は地方公務員です。少年野球チーム「小坪トータス」の指導者として二十年を越えしました。十年前から逗子の体育指導員を委嘱されています。

座談会

かめがおか。過去。未来

平成二年二月十日(土)

亀が岡会館で

「二十五周年誌」発刊の経緯

——きょうは、亀が岡の過去・未来を語り合うというこゝで、これから六人の方がたにお話を伺いたいと思います。ちよつとキザなテーマかな、とも考えますが、まあ、お気軽に自由にご発言いただきたいと思ひます。

出席者

(敬称略)

佐藤 義男 (第25期会長・六班)

高宮佐紀子 (第25期副会長・八班)

鈴木 有子 (十班)

東 弘之 (二十一班)

石母田澄江 (十三班)

鷺原 浩 (十五班)

《司会》

霜山富士夫 (一班)

板津 直成 (七班)

小沢 健一 (八班)

杉本代八郎 (十八班)

まず、「かめがおか二十五周年誌」を発刊したいとお考えになった経緯を、現会長の佐藤義男さんにお話しいただきたいのですが。と申しますのは、この経緯が、座談会をなぜ開くかの導入部になると思ひますので。

佐藤 二十五周年誌を出したいと考えたのは会長をお引き受けした昨年の三月、八班の小沢健一さん(第五期事務局長)が「ご参考に」と第一号から現在に至る会報のバックナンバーを全部もつてこられたときです。今期はちよつど25期。この間、すでに他界された会長、移転された会長もいらつしやる。30期まで待つことも考えられますが、いまのうちにまとめておかないと二十五年の歴史が分からなくなる恐れもある。初期から存じ上げている方が健在のうちに、と考えたからです。記念誌を作るとなれば編集委員が必要です。身近にその任びつたりの方がおられました。第10期会長で神奈川新聞の霜山さん、第11期会長で亀が岡の初期から活躍され、地域にくわしい杉本さん、さきほど申し上げたほかに「小坪トータス」の発足にもかかわつた小沢さん、前期副会長で、「かめがおか」の編集にあつたさわり、朝日新聞にもおられた板津さん、以上四人の皆さんです。さつそくお願ひいたしましたところ、ご理解いただき、お引き受

けくださいました。

その記念誌の中味についてですが、亀が岡の方がたのご意見も載せたい。亀が岡をどう思うか、これからの亀が岡をどのようにすれば住みよい町になるか、など自由に発言できる場、そういうページをつくりたいと四人の編集委員と話し合いました。その結果、出席者は①高齢者から若者まで、②少人数で男女三人ずつ、③自由に発言していただく、というこゝで本日、皆さま方にお集まりいただいた次第です。

——まず、ご出席の皆さんの自己紹介からはじめましょう。



鈴木 昭和四十一年五月に東京の久我山から参りました。当時三歳と一歳の子どもを連れて。家の前に山もあり、回りにはスキが茂つていました。ここには生活のための一応の施設はあると思ひつたのですが……。

東 昭和四十年の十一月に参りました。職業は地方公務員です。少年野球チーム「小坪トータス」の指導者として二十年を越えましました。十年前から逗子の体育指導員を委嘱されています。

石田田 昭和五十二年、東京の江戸川から参りました。江戸川ではバス停のところの家

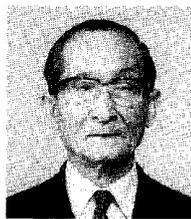


がありましたので、急坂のある亀が岡にはびつくりしました。不便という点で生活が出来るかどうか心配でしたが、住んでみると静かな環境なので、都会に出たときは逆に疲れが出ます。

鷲原 昭和四十八年に、父と移り住みました。現在、二十五歳、会社員です。小学生の時少年野球のトータスに入って、東さんのお世話になりました。同じ世代の人やチームでの縦の関係でも、たのしい生活を送ることが出来ました。



高宮 昭和四十三年十月、千葉の柏市から参りました。父が亀が岡で開業し、夫は慈恵医大に通いながら夜、開業いたしました。趣味の方ではゴルフを通じてお仲間がたくさん



佐藤 わたくしは東京の久が原にいて、四十三年十二月に引越してきました。北九州に仕事の中心があったので心ならずも自治会活動には当初、あまり協力できませんでした。

ただ自治会の役員の皆さんが各期それぞれ「よくやっておられるな」といつも思っていました。

きょうは、皆さん方のほかに、二十五



左から鈴木さん、佐藤会長、霜山編集委員

周年誌の編集委員もオプザーバーとして参加しております。

今の子どもは、かわいいそう

では、亀が岡にいらしたころの思い出から、周囲の自然、環境、便利さ、不便さ、なんでも結構です。お話し下さい。

鷲原

小さいころの

思い出ですが、空き地が多くて、虫はとれ、好きな遊びが出来たので、めぐまれていたと思います。いまは遊び



が出来るところがないのではないのでしょうか。わたくしは小坪小から久中に進みました。

鈴木 子育てをしていたころは空き地があり、子どもも泥んこになって遊んでいました。いまは、公園でボール投げもダメだと聞いていますし、道路は車の往来で遊べませんし、子どもたちがかわいそうです。



東 サラリーマンにとっては、亀が岡は静かに休める所ではないでしょうか。山は近くにあるし、海も近いし、史跡を散策しようと思えば鎌倉もあるし、住みやすいところだと思います。

自然の環境すばらしいが：

石田田 三年生と六年生の子どもがいますが、公園でも遊んでいます。高学年になると勉強が忙しいし、家でも遊ぶものがあるので、いまの子どもは、塾やおけいこごとの合間をぬって、自分で遊びをみつけているようです。自然の環境はすばらしいですが、逆に子どもがのんびりし過ぎるのではないかと、思っています。学校でも砂祭りなど、ほかのところでは出来ないことをいろいろ学んでいるように思います。

鈴木 引越してきた当初の数年は、バス停も披露山入口しかなくて、坂もきつく、子どもの手を引いて荷物をもってあがってきたことは忘れられません。

石田田 子どもが途中で寝て、背中に子ども、手に荷物いっぱい、バス停亀ヶ丘からのぼって歩く気持ちは、緑ヶ丘入口からの皆さんと多分、共通の辛い経験だと思いますね。

必要な助け合いと居住性の向上

鈴木 それにつけても、車の運転を覚えてからは、毎日、家族を駅に送り迎えに行くことが多いわけですが、十時すぎ、タクシーを行列で並んで待っている人を見ると、亀が岡の方をお連れしたい気持ちでいっぱいになります。何か目印でもつけて「どうぞお乗り下さい」と申し上げたい。また、早朝出掛けなくてはならない時や夜中に急用ができたときなどの「助け合い」組織をつくってもいいのではないかと思います。



左から板津編集委員、高宮副会長、東さん、石田さん

佐藤 亀が岡のバッジがありましたね。それに蛍光塗料でもつけてね。お互いに助け合えば顔見知りも増えますよね。(笑い)

——逗子発のバス最終便の時間を繰り下げるように、京急バスにお願いすべきではないでしょうか。逗子駅—緑ヶ丘入口—亀ヶ丘—逗子駅といった巡回バスも、粘り強く継続的に居住性を高めるために交渉する必要がありますね。

鈴木 前に高宮先生の成人病講演会を二回お願いしましたが、これからも地域ドクターとして継続していただきたい。湘南クリニックが夜間診療をやっていたら、まさかのときに安心感があります。

子どもに地域とのかかわりを

——ところで、トータスの現状は？

東 いま部員は四十五人、そのうち亀が岡の児童が三分の二です。一時は百二十人を超えた時期もありましたが、児童が減ったことと、他にサッカークラブなども出来ましたので、部員は少なくなりました。練習は小坪小学校庭、飯島の公園で行い、コーチは昔の二、三人から、いまでは八人に増えて助かっています。

佐藤 いま小坪小は四百八十人。その半数がヘルスケアーマンションの前を渡る。交通指導にもあたられた石黒校長先生がおっしゃっています、その半数の大半が亀が岡の児童ではないかと思えます。

石田 子どもが地域とかかわりを持つべきではないかと思えます。小坪には昔からの伝統行事もあるということで、石黒校長先生もご熱心ですし、小坪のお祭りに亀が岡の子どもたちも参加出来れば、と考えます。

東 ぼくたちにも出来なかつた夢を、実現し

てやりたいですね。たとえば浜のミコシだけではなく、亀が岡にも子どもミコシをつくってみてはどうでしょうか。自治会の役員、敬老会もふくめ、各サークルの指導者が中心になって検討してみたらどうでしょうか。

石田 楽しい話には耳をそむけますが、楽しいことには、参加する方が多いのではないのでしょうか。

高宮 きょう出席する前に、主人にどんな話をしたらよいかしら、と相談しましたところ「これからは高齢化の時代になるのだから、自分たちの生き甲斐について考えるべきだ」と言っていました。書道、俳句、短歌、囲碁、将棋、麻雀、社交ダンス、ゲートボール、ゴルフなど、まず趣味やスポーツを通じて近所の方と楽しくお付き合いすることが大切ではないかと思えます。一人ぼっちで大阪からこられた方が囲碁の会に入られ、お友達も出来、明るくなられたと聞いたこともあります。

会館拡充すれば連帯感も

鈴木 そのためにも会館を広くしたいですね。何をやるにしても、コミュニケーションの場が大切です。これからはますます高齢化が進みますので、会館を広くして二つか三つに区切って利用頻度を高め、あそこへ行けば話し相手がいる、自由になって、お茶が飲める、という安心感、連帯感のある場が必要なんじゃないでしょうか。いまは使いにくいし、市に移管されているのに使用料を払っていますし……。

佐藤 使用料は自治会の運営のために使われていますが、会館をより使いやすくすることは、次期執行部への引き継ぎ事項にいたしましょう。

東 いろいろなサークルがあるわけですから横の連絡をとり合い、アイデアを出して亀

が岡のだけれどもが参加できるイベント——たとえばお花見、油壺ハイクだとかを計画することも良いですね。知人が増え「亀が岡人」としての連帯意識が強まると思います。

鈴木 十五年前だと思えますが、小坪小の体育館を借りて文化祭をやりましたよね。

——以前は子ども会がありましたね、今はどうなっているのでしょうかね。

東 いまは「亀が岡子供会」はないようです。大半の子どもたちは、自分の好きなスポーツクラブやサークルに入っており、どこにも入っていない子どもだけを集めて子ども会をつくるということもまとめるのが大変だからと思います。何かイベントをやりたい時は、クラブやサークルに声をかければ多くの人が集まると思いますよ。

——きょうのテーマの一つに「若者にも魅力ある街に」があるのですが驚原さん、いかがですか。

亀が岡10年後の夢：あれこれ

——皆さん、何かしたい、して欲しいといういろいろお考えのようですが、亀が岡の十年後の姿をどのように描いておられますか。夢であつても結構ですが……。

佐藤 私はね、亀が岡のはずれにハゲ山があるでしょう。あそこが公園になればいいなと思つていゝんですよ。ハゲ山は県営住宅を建設する目的で県が買った土地ですが、地元の方で延び延びになつていゝ。富士山はよく見えるし、亀が岡も一望です。いざという時は、避難場所にもなります。周辺の住民の署名を集め、陳情書を作つて県に働きかけたら見込みがあると思うんですが……。

鈴木 ぜひ実現させたいですね。亀が岡と小坪ハイツ、緑が丘にまたがっている高台で、

がですか。

驚原 ぼくは仕事柄、地域の会長さんたちにお会いする機会があります。これらの方はたは何年か、かなり長くやつていらつしやつて環境問題や交通安全などにしつかり取り組んでおられるようです。亀が岡も一案として役員さんの任期を一年ではなく二年とか三年とかにしてはどうでしょうか。事業を継続する意味でも……。また、青年部もあつてもよいのでは。地域や自然に密着した若者の活動も必要ではないかと思つています。いまの若い人は自分の家や街を単に「住む所」としか考えていない人が多いんじゃないですか。

佐藤 自治会の役員、とくに事務局を担当する役員は、特別職としてそれなりに待遇し、毎年交代というのではなく、自治会の行事、市との交渉その他の渉外業務に精通するような方法がとれば、他の役員は大変助かります。

ここを公園にするというアイデアはタイムミンが良いのではないかしら。それから話は別ですが、テレビのチャンネルによつては入りにくい場所もありますので、披露山庭園住宅のように共同アンテナを立てたらというご意見もあるようです。個々のアンテナは塩害のために何年か一度は取り替えざるを得ませんから。皆でお金を出し合つて共同アンテナを、と思うのですが……。

——防災関係の無線に詳しい方にご検討をお願いするとか、住民の方のご意見や実態調査も必要でしょうかね。

東 それなら、いっそ衛星放送がみられるパラポラアンテナもつけたり、CATVの設備も考えたらどうでしょうかね。ついでに電柱



正面左から小沢、杉本両編集委員

や電話線も地ケーブルにしてしまつたら道路は広く使えるし、環境改善にもつながりますよ。

高宮 バスを亀が岡の中を通したらいいかがですか。自治会でバスを買つて運転手も雇つて。(これは無理かな?)

驚原 緑ヶ丘入口に下りる階段の山側に手スリをつけるべきです。スグにでも。雪の時はほとんどの方が滑つて危険を感じていらつしやるんじゃないかと思つています。坂で苦労しているついでに、「動く歩道」はいかがでしょう。高齢者時代に向けて、どこから帰つても急な坂を苦労して登らなくてすむように。有料でも良いと思つています。(お話はだんだんエスカレートしてきた)

——大変楽しい、まさしく夢のようなお話も出ましたが、わたくしたちの亀が岡を、より住みやすく明るい街にしたいというお気持ちのあることはよく分かりました。これからはみなさんのご意見をあつめて、「明日の街づくり」のため、具体的に協力し合つていきたいものです。きょうは、ご意見をいろいろとありがとうございました。

亀が岡自治会の10年をふり返る

出席者

森本 茂雄（初代会長）
 中川 達男（2、3、6、7、8代会長）
 石塚 正晴（初、2代事務局長、3代副会長）
 内海 督夫（2代総務担当幹事、3代事務局長）
 《司会》 杉本代八郎（11代会長）（敬称略）

——本日は開拓期から苦勞してこられた先輩の皆さんに率直なご意見をいただければ幸いです。石塚さん、自治会結成のころの話を。

石塚 分譲した労信販としてはなんとかして自治会を作らせ、水道の管理を自治会に任せようというハラがあったんです。当時まだ

一二軒でした。一九六五年の三月、親睦会のような形で、三月にちなんて弥生会というのができました。

水道問題で開拓期役員は四苦八苦

——引越してこられた時には、水道はあったんですか？

石塚 いや、なかったんです。久木新道へ降りる突き当たりには外人の住む一軒家があり



森本、中川元会長を中心に、あれこれと苦勞話に花が咲いた

その家の外に水道の蛇口があって、そこで水を汲ませてもらうんです。苦勞しました。六年十二月ですか、この会館の場所に水道タンクができて、曲がりなりにも給水されるようになった。ところがモーターがよく故障する。すると団地の高い所は全然水が出なくなつて、すぐ電話がかかってくる。私は自分でポンプの修理もやりましたよ。

——道路はどんな状態でしたか？

森本 初め形だけはきれいだったんですよ。せんべいみたいに薄い舗装がしてあって……ところがたちまちはがれちゃった。

内海 あのころ女性のハイヒールのかかどが細く、舗装を突き抜けて穴だらけになつてしまふんです。

弥生会のあと自治会が正式に発足

森本 弥生会のあと、正式に自治会の発足ということになり、国鉄（当時）の逗子会館で会合がありました。私はその場で議長にされてしまい、労信販の用意したタイプ刷りの規約草案を審議したんですが……。後日一〇人ばかりがたずねてきて、会長を引き受ける、引き受けなければ帰らないということ、とうとう……。(笑い)

その後、労信販との交渉によく通いました。向こうは土、日休みですから、こちらは勤務をやりくりしてウィークデーにですよ。逗子の亡くなられた山田市長、警察、消防などもよく交渉しました。遊園地は私の代にできました。労信販に約束を守らせましたね。サクラもこの時植えた。

しかし何といつても亀が岡自治会の最大の功労者は中川さんです。水道、道路、会館。すべて中川さんの努力で今日までもつてきた。

石塚 森本さんも大変よくやって下さったんですが、お仕事が忙しくて、ご無理をお願いするわけにはいかなかった。私の家のすぐ上の石坂さんが都職員組合の副委員長、中川さんが委員長だったんです。そこで石坂さんを通じて働きかけ、名前だけなら、ということとてやっと二代目会長に就任していただきました。

当時の三大課題―水道・道路・会館

中川 水道、道路、会館の二つがやはり課題でした。外回りの交渉なら慣れているからよからう、その代わり団地内は事務局長以下で頼むという条件で受けました。

私はまず水道問題を解決しました。この会館の地下に水槽があり、その上にタンクがあつてポンプで汲み上げていた。停電の時はタンクの水が流れてしまうと次が上らず団地の半分は水が出ないで大騒ぎになった。もう一つ問題は、労信販が県企業庁と大口消費契約を結んでいたことです。団地一括、メーター一つなんです。このメーター表示の金額を労信販が県に払い、われわれは個々の分を労信販に払っていた。これが大口消費者だから一括当たりの単価が高い。また漏水が多く、労信販はわれわれが納める以上の額を払わなければならなかった。

まず水道問題、一年がかりで解決

そこで県へ「われわれは家庭消費者なのに大口並みの扱いをされているのは違法だ」と談じこみ、県は、労信販がタンクを新設してくるなら一括払いはやめようということになりました。

ところが今タンクのあるあの場所は名越の切通し。文化財保護指定を受けており、あの一角を切り崩すには、文化財保護委員会の許可が必要だった。そこで代議士の長谷川正三

氏(社)が文教委員で、個人的に知っていたもので、骨を折ってもらい、やっと認可をとって完成しました。これだけで二年間かかりました。

残ったのは、道路を市に移管する件と会館建設の件ですが、これについては労信販理事長と文書で協定し、約束させたうえで会長をバトンタッチしたんです。しかし二年たつても、いっこうに進まず、再度やり出されて三年間、会長をやりました。

道路の市への移管問題もめて苦慮

道路が進展しなかったのは、労信販は国土建設に委託して造成させたが、ここは中小企業で、工事が長びき赤字になったため、この周辺の土地で工事を支払った。そのため国土から土地を買って家を建てた人たちが出てきた。そうなるとう信販は自分の売った土地は市へ移管のため舗装するが、国土の分譲した部分については責任を負えないとい出した。たまたま当時の市の高橋助役と交渉してメインストリートだけは舗装ができていたがそのころ山田市長が亡くなられ、市長選挙になって高橋さんが出馬した。高橋さんは超党派、無所属を名乗っていましたが、当選したら亀川の道路を必ず市へ移管してくれるという約束で、私も応援しました。

あの時、私は会長を降りていたのに、現職の自治会長が特定の候補を応援してどうかといわれました。ともかく高橋さんが当選してくれたので、私も再度会長となり、八代目の役員るとき、二月市会で正式に移管が決まりました。あとは早く舗装を、と市へ働きかけるだけです。

住民の強い連帯感で三大課題解決

また八代目の最後にこの会館が建ちました。旧水道タンクの土地を労信販に寄贈させ、長

谷川工務店に二〇万円でやらせました。実際は二倍かかったようです。これで水道は終わり、最初の三大公約は成し上げたので、三年前に会長をおろしてもらいました。

森本 まあ地縁共同体的な団結が当時ありました。私は戦時中の隣組のような、上から指図する形の自治会にはたくなかったし、多くの住民が同じ意見だった。だから日曜の掃除も、青空集会も自然発生的だったんです。

中川 青空集会で月一回は報告する義務があるので、さばることができない。またいろいろうるさく質問する人もいたね。(笑い)

内海 直接民主主義でした。

小坪 湾理立てでダンンプから通学児を守る会をやりましたね。

石塚 アパートを造る人があり、基礎工事の段階で気がついて説得したりしました。

内海 あれからアパートはかなり断念してくれましたね。ぼくの代にはもう二〇〇世帯になり、班組織も固まって石塚さんが車で防犯パトロールをやったようなことはしませんでした。でも、何軒かは泥棒に入られたですよ。

一階家がねらわれましたね。

世帯増加で連帯感薄れる懸念も…

―道路舗装は来年は完成させるよう交渉していますが、今度は団地内の優先順位で不満が起きています。なにせもう六〇〇世帯で、いろいろな人がおりまして…

森本 今は連帯感が薄くなっているから、役員さんは精神的に参るでしょうなあ。

石塚 役員はやめてから淋しく、なつかしくなるもんですよ。

中川 日曜日がこんなにヒマだったかなんて不思議になって。(笑い)

〔注〕この座談会は「かめがおか」30号から転載(要旨)、見出しは新たに付けたものです。

——主婦のみなさん方に日常生活のこと、会へ希望することなどザックバランにお話を願いたいと思います。

□□の道路、早く直して！

山本 やはり道路が一大関心事ですね。大
洋不動産の造成地に近い道路がひどくいたん
でおり、石はゴロゴロ、穴ぼこは大きくえぐ
られておりましてねえ。その穴へ足を滑らせ
てケガをしてしまったことがございます。夜
などは本当に危なくて。早く応急処置でも
結構ですから直してもらいたいものです。

荒瀬 道に大きな車
がデーンと駐車している
のを時々見受けます。
特にある店やさんの前
の急な坂で、しかも角
のところですからほか
の車の通行にも支障を
きたして危険ですね。

京極 あそこは子供さんの通学路ですし、
雨が降った時など滑りやすいですね。ほかに
駐車場があればよいのでしょうか……。

内海 側溝の水の流れがとても悪く、淀ん
で不衛生なんです。この春でしたか、子供た
ちが「おたまじゃくしを取ってんだ」と言っ
ているので、見ましたらドブにボーフラがわ
いてそれをすくっているんです(笑い)。毎月
第一日曜日が団地の清掃日にもなっているん
ですから、泥さらいや消毒などドシドシやら
なければいけませんね。

——私ども役員も一日も早く完全舗装が実
現するよう労信販と市へ働きかけています。

松本 空地に名札のある所、ないところが
ございいますが、ない所は所有者が不明なので

しょうか。

——必ずしもそうではないのですが、名札
は前役員がつけたもので、結局連絡のない方、
自治会費を納めていない方が大部分でしょう
ね。現在、空地の半数以上が所有者と連絡と
れずに困っています。

松本 空地の雑草が大変伸びていますが、
ご自分の土地はご自分できれいに管理しても
らいたいですね。タバコの吸いながらだろ
うと思いますが、私の家の近くの枯草から火
が出て、危うく消し止めたこともあります。

——買いのものや、近所付き合いなどいかが
ですか。

鶴崎 団地の中に魚
屋さんが店を開いてく
れると助かるのですか
……。

——八百屋では手こ
ずりましたよ。一人二
人の苦情なら会できとり
上げるまでもないと思っ
ていたんですが、ア
チコチから声上がり結局、
八百屋誘致の回
覧まで出す始末で、今度
は魚屋ですか(笑い)。
何とか考えてみましょう。

亀が岡 あれこれ

出席者

(敬称略)

- 鶴崎(1班) 土持(2班) 京極(8班)
- 荒瀬(8班) 石川(10班) 松本(11班)
- 山本(11班) 内海(13班) 鈴木(15班)

《司会》

事務局・小沢(健)

小泉 本田

京極 新しく入ってこられた方のためにも
団地内の商店の広告や案内、それに地図など
をつくり、よく知ってもらいたいと思
います。

グループで美容体操いかが？

鶴崎 主婦のグループ活動のことなんです
が、バレーボールや美容体操なんかやったら
いいんじゃないですか。

——一同(笑い)。トタンにワイワイガヤガヤ
大賛成です。遊園地では恥ずかしいから、ど
こか場所をみつつけて、それにつけても集会場
がほしいですね。

鈴木 小学校のPTAではバレーボールの
クラブをつくっています。この団地の何人か
の方も参加しているんですが、もつとPRし
てもいいですね。

土持 ご近所同士で読書会や雑誌の回し読
みなんかやっても、と思います。

松本 近くの老人クラブに顔を出して幻滅
を感じましたよ。あまりにも年寄りくさくて
……。明るい気軽な年寄りの集まりをつくった
らいいと思いますよ。

石川 亀が岡に婦人会をつくり、サークル
活動や親睦をはかたらいかげでしょう。

——会員の親睦のためなら会もお手伝いで
きると思います。

鈴木 遊園地に時計をつけてほしいという
希望があるのですが、費用は、自治会が廃品
回収やバザーを行い、その収益をあてたらど
んなものでしょう。

——小学校の廃品回収の「営業成績」がよ
かったのを味をしてみましたね(笑い)。では、
この辺で。